



自治会と連携し見守り活動を推進

酒匂地区社会福祉協議会(小田原市)

県西部に位置する小田原市の酒匂地区は、鮎で有名な酒匂川と相模湾に囲まれた丘陵穏やかな地勢です。人口は約一万七千人。高齢化率は市の平均(約一八%)を下回り、約一五%となっています。

在宅福祉チームの立ち上げ

小田原市では、高齢化の進行と近隣関係の希薄化の中で、住民同士の身近な助け合いを地域の課題と位置付けています。昭和六十二年からは、市社協や地区社協により、自治会役員や民生委員児童委員等からなる「在宅福祉チーム」を自治会単位等に設置し、住民参加による独居の高齢者等への見守り活動を展開しています。

見守りメンバーの公募

酒匂地区の二十五の自治会のうち、酒匂八区の「在宅福祉チーム」は、月一回の定期訪問のほか、昼食会等の地区社協活動の案内と併せた安否確認や、近隣住民、民生委員児童委員との連絡を密にした、日常的な見守りを行っています。



おやつを食べていきいき体操!

チームは当初、自治会組長で構成されました。これは組長任期が一年であるため、多くの方が活動に関与でき、それが地域住民への関心につながるかと考えたためでした。しかし、実際には活動は活発化しませんでした。原因を検討した結果、多忙な組長がメンバーを兼任していたことが一因としてあげられたため、平成十年からメンバーの一般公募に踏み切りました。現在は、三十から六十代の男性六人、女性二十人の熱意ある方々が、

独居の高齢者等約三十名に対し、四人一組のチームで担当制をしいて見守り活動を行っています。

工夫された広報紙づくり

こうした活動は、研修案内や各自治会の活動紹介とともに、平成十三年から隔月発行している広報紙で広くPRされています。

大きな文字と写真を多用すると同時に、複雑な分別ゴミの収集日を明記した二カ月分の曆も掲載するなど、高齢者世帯への配慮も随所にうかがえます。またこの曆があることで、長期間手元に置いてもらえることも多くなり、地区社協の認知度アップにも繋がっています。

更なる活動の展開を目指して

地区社協では、見守り活動を通して、高齢者も子育て家庭等も、だれもが暮らしやすい町づくりを住民参加のもとで進める大切さを再認識し、子育てサークルへの支援も始めました。

「地域活動に目を向けている人は多い。自治会と連携し、多くの人の協力を得た活動を進めたい」(地区社協役員・堀内氏)と、更なる活動の展開を目指しています。

(地域活動支援課)

※本年度の県社会福祉大会で、優良地区社協として表彰されました。

— 社会福祉施設の設計監理 —

株式会社 安江設計研究所
YASUE & ASSOCIATES' Inc.

東京都港区高輪2-19-17-808

TEL 03(3449) 1771(代) / FAX 03(3449) 1772

E-mail: BCH12011@nifty.com



A 保育園 (川崎市)



新築・増築・改修等お気軽にご相談ください